



福山大学

FUKUYAMA UNIVERSITY

学 報

2015.4.3 Vol. **144**

三蔵五訓

真理を探究し、道理を実践する。
豊かな品性を養い、不屈の魂を育てる。
生命を尊重し、自然を畏敬する。
個性を伸展し、紐帯性を培う。
未来を志向し、可能性に挑む。



祝 入学

目次

平成27年度 入学式 学長告辞	1
平成27年度 入学式 理事長挨拶	2
学修に取り組む前に	3
キャンパスライフへの指針	5
学友会短信	8
国際交流瓦版	9
学内TOPICS	10
行事予定	11

平成27年度 入学式 学長告辞

少しがんばって、学ぶ！

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。ようこそ、福山大学においでくださいました。福山大学教職員一同、そして在学生一同、新しい仲間を迎えることができたことをここから喜び、ここから歓迎します。また、ご臨席のご家族の皆様には、ここまで育て、そして福山大学へと、物心両面でご支援いただきましたこと、ここより感謝申し上げます。新入生とご家族の皆様のご期待に十二分に応えて、これから卒業までの期間、新入生の皆さんの広範な人間形成に向け、教職員一同全力を挙げて取り組む所存です。ご家族の皆様には、引き続いての物心両面でのご支援を、よろしく願いいたします。

福山大学は、今年創立40周年の節目を迎えます。卒業生総数は約34,000人で、その中から備後地域を中心に、全国の様々な地域でリーダーや中核となる人材を多く輩出しています。創設者による建学の精神は、「学問のみに偏重するのではなく、真理を愛し、道理を実践する知行合一の教育によって、人間性を尊重し、調和的な全人格陶冶を目指す全人教育」ですが、この精神は5学部14学科、4研究科13専攻を擁する人文社会系、理工系、医療系のそろった中国地方有数の私立総合大学となった今日まで、脈々と続き、私ども教職員が行う教育支援の中心的理念となって受け継がれています。

さて、皆さんは本日、福山大学に入学しました。「入学」すなわち「学び」に入るのです。では、何を学ぶつもりでしょうか。それぞれの学部・学科の名前が示しているような専門の知識や技能を学び、卒業後の就職につなげたい……。そんな思いの人が多いかと思います。もちろん、それは間違っていないかもしれません。でも、それだけでは十分ではありません。もう少し、広い視野で社会を見てみましょう。皆さんが4年後あるいは6年後に出て行く社会は、いろいろ難しい問題を抱えています。

なかでも、少子高齢化でかつ人口が減少する社会への本格的な突入です。これから25年後の2040年には、日本の自治体の約半数が今後少々出生率が上がったとしても、従来通りの社会のあり方下では、自治体としての機能の維持が難しくなり、消滅可能性の大きい市や町になるだろうと予測されています。人口学的に見れば、ある程度、先進諸国が必然的に至る道筋ではありますが、日本は外国との移動の少ない島国であるという地政学的特徴と高度経済成長期以降、東京一極集中が極端に進んだという政治経済的事情の下、先進諸国の中でいち早く「少子高齢化・人口減少社会」の入り口をくぐりました。2040年といえば、皆さんはそれぞれの生活拠点の地域や組織で、働き盛りのリーダーや中核となっている年頃です。我が国の15～64歳の生産年齢人口は、1995年の8,700万人からすでに現在7,700万人まで減少していますが、さらに、2040年には5,800万人まで激減すると推定されます。現在もすでに労働力不足がいわれっていますが、今のような労働力の使い方では、産業を含む生活全般の破綻は目に見えています。他方で、コンピュータ、IT技術、人工知能、ロボット等の急速な進歩は、人の働き方に非常に大きな変革を迫るはずです。すなわち、生産年齢人口の減少は労働生産性の向上を求めることにつながり、人には人でないといけないことを成し遂げる能力が、強く求められるようになるでしょう。

そのような時代が、皆さんがリーダーとして中核として働いている時期に確実に来るとすると、皆さんが高校卒業後の進路として大学進学を選んだということは、とても重要な意

味を持っています。大学ユニバーサル化時代とはいえ、大学進学率はたかだか50%です。皆さんには、確実に地域や組織の中核となり得る人材として育ていただく責任があるといえます。すなわち、いささかの覚悟を持って大学の学びに挑戦していただきたいのです。

教員の提供する知識と技能をそのまま受け入れて、試験をパスして卒業、というような学びでは、きっと将来後悔することになるでしょう。少しハードルを高くしても、仲間とともに、それでもできれば少々異質な仲間も含めて、仲間とともに自ら課題を見つけ、解決方法を考え、実践して失敗を繰り返してそれを乗り越え、自分たちなりの解決に至るという課題解決学修に代表されるようなアクティブ・ラーニング、すなわち主体的学修に果敢に取り組んでいただきたいと思います。どの学部・学科でも、あるいは課外活動としても、多様なアクティブ・ラーニングの機会を大学は用意しています。未知のことへの多少のチャレンジ精神、失敗してもくじけない少し強い意志、そして仲間との助け合いの精神も少々必要ですが、課題を仲間とともに乗り越え、成果を手にした時、皆さんはちょっとした成功感と小さな自信を手にするはずです。これを4年間あるいは6年間積み重ねることにより、卒業時には福山大学卒業生として、IT機器やロボットが決して持つことのない、大きな自信と誇りを持って卒業することになるでしょう。

現在、福山大学は「地域の中核となる幅広い職業人の育成」をミッションとしています。就職率は、ここ数年ほぼ100%です。大学は備後地域にあり、備後地域から本学に来て備後地域に就職して生活する学生は多く、先ほども述べたように、すでに多くの卒業生がこの地域の中核やリーダーとなって活躍しています。また、大学の授業にも、社会と連携した活動にも、あるいは教員と学生による研究にも、備後地域に関係したものを増やしています。さらに、ミッションの「地域」には、備後地域に限らず、いろいろな地域でそこに根付いて中核となる人材という意味を込めています。オンリーワン企業、そして地域から海外展開する企業の多い備後地域、また、中国山地を背に瀬戸内に面した自然豊かな備後地域、この地域を範例として学び、経験したことが、たとえ他の地域で生活することになっても、しっかりと生かされうような、そういう教育を行います。将来は、様々な地域に軸足を置いて、そこからグローバルに活躍できる、そういう根無し草でないグローバル人材に育てていただきたいとも考えています。そのような教育を行うことが、備後地域で唯一の私立総合大学である本学の存在意義でしょう。

このように、学び方も学ぶ内容も高校時代の延長ではなく、新しい挑戦として、少しがんばって大学時代を過ごされることを、心から期待しています。そして、私たち教職員は、皆さんが誇りと自信を持って卒業できるように、皆さんの日々の学びを惜しみなく支援することをお約束して、入学式告辞とします。



平成27年4月3日

福山大学 学長 松田 文子

平成27年度入学式 理事長挨拶

学業に励むとともに必ず資格取得を

本日の記念すべき佳き日に平成27年度入学生のための入学式典が盛大に挙行されることにつき、心よりお祝い申し上げます。

新入生の皆さん入学本当におめでとうございます。皆様の入学を全教職員はじめ在学生在が心から歓迎いたします。

また、本日は新入生の保証人の皆様にも多数ご列席いただき、ありがたく厚く御礼申し上げます。大学としては保証人の皆様が大切に大切にお育ていただいたお子様をお預かりするわけですから、知・徳・体の学力や体力を身につけるとともに、国家試験や教員試験などの各種資格もきちんと取って、立派な社会人として巣立つよう責任を持ってお預かりすることにしておりますので、どうか安心しておまかせいただきたいと思っております。

さて、学校法人福山大学は福山大学と福山平成大学の2つの大学によって構成されておりますが、大学の創立者元文部省大学学術局長であった宮地茂先生は、大学の建学の理念につき「全人教育」という立場から「調和的な全人格陶冶を目指す全人教育を行い、国家・社会に役立つ有為な青少年子女を育成することにある」として、次の基本方針をたてられました。

- 一．真理を探求し、道理を实践する。
- 一．豊かな品性を養い、不屈の魂を育てる。
- 一．生命を尊重し、自然を畏敬する。
- 一．個性を伸展し、紐帯性を培う。
- 一．未来を志向し、可能性に挑む。

大学としてはこれを私立大学の建学の理念として、その実現に向かって全教職員が一丸となって努力しているところであります。まさにこの理念は、ギリシャの哲学者プラトンやスイスの教育者ペスタロッチが称えた教育思想であるとともに、わが国の現行教育基本法の基本精神であります。

さて、わが国の経済状況は、安倍内閣が発足してからのアベノミクスによる金融緩和、財政出動、成長戦略などの基本政策により「経済の持続的成長を持たらす構造改革」が着実に進められ、平成27年度も昨年に続き定昇などの賃上げやベースアップが図られるなど経済全体に明るい展望が開けつつあります。

学校法人福山大学の2つの大学は、大学の目標として「地域・社会で働く中核的な人材の育成」をミッションに掲げ、国家・社会は勿論、取りわけ地域社会を大切に、これらに貢献する有為な人材の育成を目標に努力することにしております。

一方、経団連、日経連、商工会議所などの経済団体では、企業等に役立つ人材として、①自分のしっかりした意見を持つこと②仕事がきちんとできること③リーダーシップを取れること④他人とコミュニケーションの取れること⑤課題を自ら見つけ、解決できる力のあること⑥奉仕の精神を持ち世のため、人のために尽くすことのできること⑦外国語でコミュニケーションが取れる能力のあること一などを強く求めています。大学としては経済界の要望を踏まえ、学生の学習指導をはじめ、生活指導や就職指導の上でこれらの要望を実現する人材とするよう努力することにしております。

新入生の皆さんもこのような経済界のニーズに応え、学業

に合わせ日常生活の上でこれらの要望に応えるよう努力してほしいものと考えております。

一方、私立大学としては、わが国の大学、国公私立合計781校(国立86、公立92、私立603)のうち、603校が、そして総学生数285万人のうち209万人、即ち高等教育の73%強を担っており、その責任は誠に重かつ大であります。大学としては、全教職員が一丸となってその国家的要望に応えるよう努力しているところであります。

さて、新入生の皆様に理事長として毎年3つのお願いをしております。

その1つは、大学生となった以上は自分が何を勉強し、どんな資格を取ったらよいかを自分で考え、きちんと決め、その目標に向かって努力してほしいことであります。

2つ目は、本学ではクラス担任制を取り、すべての学生について一人ひとりを教師がきちんと担任し、学習指導をはじめ生活指導、就職や進学指導などを責任を持って行うことにしております。担任の教師とのコミュニケーションを日常的にしっかり取り、何でも相談し指導を受けるようにして下さい。勿論学生ですから授業などには必ず出席し、学業に励むことは当然であります。

3つ目は、在学中にたくさんの友人をつくってほしいことです。友人は学生時代はもとより、卒業後も生涯にわたって付き合っていくもので、どんな宝物よりも貴重な財産となります。福山大学には、外国からの留学生もおりますので、これらの留学生とも日常的に交流し、外国の文化、伝統や言語、習慣について学ぶとともに、日本の文化や伝統についても留学生に教えてほしいと思っております。

なお、学校法人福山大学の2つの大学は、18才人口が年々大幅に減っている中で、教職員達の大変な努力により、志願者も増加しているとともに、就職については全国平均を遙かに上まわる高い実績を挙げております。

最後に新入生の皆さん、大切で貴重な学生生活を夢と希望に満ちたものとするとともに立派な社会人となって、国家・社会で活躍する有為な人材となり、大切に育てて下さった保証人の皆様の期待に応えるよう、しっかり頑張してほしいと心から念願し、入学生へのお祝いの言葉といたします。



平成27年4月3日

学校法人 福山大学 理事長 清水 厚實

学修に取り組む前に

自慢することのできる学生生活を！



新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。ようこそ、福山大学へ!!これから皆さんは、この福山大学で4年間を過ごすことになります。大学生になったら勉強の他にアルバイトや旅行をしたいなど、あると思います。私も1年生の頃はそう思っていました。大学生は自由です。私が送ってきた3年間の学生生活を少し紹介させていただきます。

私が今まで経験してきたことは、大きく2つあります。1つ目は、三蔵祭という福山大学の大学祭の運営委員に3年間携わったことです。良かったことは、経済学部を含め、他学部を合わせ大勢の部員がいるので、多くの友人が増えたことです。そして、大学祭を運営する側として新しい視点から大学

祭を見ることができ、様々な経験を積むことができました。2つ目は、海外研修に参加したことです。この研修の中で、海外の学生と交流する機会を得ることができ、国籍は違っても同じ大学生という視点で詳しく海外のことを知ることができました。この2つは、私にとってかけがえのない経験になりました。

新入生の皆さんも、自分のやりたいことを見つけ、思い切りチャレンジしてください。それは、皆さんにとってかけがえのない経験になるはずです。皆さんが、誰かに自慢することのできる学生生活を送られることを願っています。

経済学科 4年 栗 竜也

大学生らしく (!?) サポートします

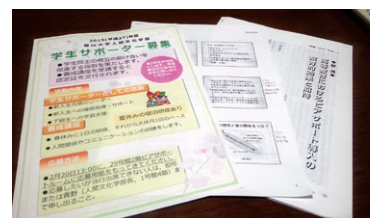
新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。入学式に出席し、これからの4年間、希望と不安で頭が一杯だと思います。そんな皆さんへ向けて、学生生活のアドバイスをいくつかしたいと思います。

大学生となった皆さんは、ある意味、不思議な立場に立たされます。学生だからという理由で子供扱いされることもあれば、年齢が20歳を過ぎると選挙へ行かなければならなくなるなど、社会からは大人として振る舞うことも求められます。しかし、子供でもあり大人でもある、大学生だからこそできることもたくさんあります。この4年間を大学生らしく、面白おかしく過ごしてってください。また、大学とい

う様々な人が集う場所だからこそ、自分にとって「合う人」「合わない人」と感じる人も出てくるかもしれません。そんな時、いかに付き合いを避けていくかを考えるより、いかに程よい関係を築いていけるかを考えていくと楽しいですよ。

皆さんが悩んでいる時や辛い時は、気軽に相談してください。私たちも先生方も、できる限り手を差し伸べ、一緒に考えていきたいと思っています。皆さんのキャンパスライフが充実したものとなりますよう祈っています。頑張ってください！

メディア情報文化学科 3年 森 沙久実



メリハリのある学生生活を送ろう！



新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。入学したばかりで、期待と不安がたくさんあると思います。大学生になられた皆さんへ、これから少しでも充実した学生生活を送れるように私なりのアドバイスをします。

まず、学修についてですが、学年が上がると授業内容が難しくなっていくので、授業には真面目に出席し、1・2年生の内にしっかりと勉強して基礎知識を身につけ、必要単位を取得できるようにしましょう。そうすることで時間に余裕が生まれ、後の学生生活を有意義に過ごすことができると思います。しかし、勉強ばかりでは疲れてしまうので、遊ぶ時間があるときにはしっかりと遊んでください。ただ、そこで

忘れていけないのは、メリハリをつけることです。自分で遊ぶ時間と勉強する時間を決め、切り替えながらきちんと自己管理していくことが大切です。そして、自分の目標を見つけ、それに取り組んでみてください。目標の結果よりも過程が大事で、その取り組みが自身の成長とやる気につながるはずです。

学生生活は長いように見えますが、充実しているほど、あっという間に終わってしまいます。悔いの残らないよう、学修だけでなく遊びにも真剣に取り組め、1日1日を大切に過ごし、これからの学生生活を送ってください。

機械システム工学科 4年 西川 幸希

学修に取り組む前に

学生生活は自分を成長させるチャンス！

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。大学生として新しい生活が始まり、期待や不安を抱いていると思います。充実した学生生活を送れるように、私から2つアドバイスさせていただきます。

1つ目は、何か1つに一生懸命になることです。それは、勉強、部活・サークル活動、アルバイトなど何でもいいです。私は勉強を選びました。提出物は期限を守り、忙しくても自分のベストを尽くして提出するように心がけています。頑張ると決めたことは全力で取り組みましょう。それが自信へとつながり、自分の可能性を広げることができます。

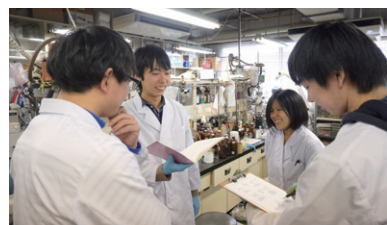
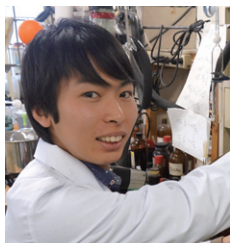
2つ目は、積極的にチャレンジすることです。大学での行事、ボランティア、地域のイベントなど、少しでもやってみたいと思うことは何でもやってみましょう。学生生活で経験したことは、将来の自分の糧になると思います。

最後に、これから悩みもあると思いますが、その時は友人や家族だけでなく、先輩や先生方に相談してみましょう。新入生の皆さんが、今抱えている期待や不安を原動力に変えて、楽しく充実した学生生活を送れることを願っています。

生命栄養科学科 4年 神波 景子



初心を忘れずにメリハリのある学生生活を！



新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。新しい舞台の入口に立った今、期待と不安でいっぱいではないでしょうか。そこで、皆さんの学生生活が充実したものとなるように少しアドバイスをさせていただきます。

大学では高等学校と違い、多くのことを自分自身で決断しながら学生生活を送る必要があります。自分で決断できるという自由さが増した分、戸惑うことも多くなるかもしれません。そんな時、「自分は何のために大学に進学したのか？」ということをもう一度、頭に置き行動していくことが大切です。その初心さえ忘れなければ、自分は今、何をすべきな

のかということが自ずと見えてくるはずです。

私の経験では、5年間の学生生活は長いようでとても短く、あっという間に過ぎ去ります。目標に向かって限られた時間を大事にしようと意識して行動してきたからこそ、様々な人に出会い、その中で様々な経験を積んで、自分自身を成長させることができたのではないかと考えています。皆さんの貴重な限られた時間、遊ぶ時は遊び、頑張る時は真剣に努力し、メリハリのある有意義な学生生活にしてください。応援しています。

薬学科 6年 藤脇 孝哉



大学教育センターは学びのサポートステーション！

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。在学生の皆さんは、新たな気持ちで新学期を迎えていることでしょう。大学教育センターは、皆さんが充実したキャンパスライフを送れるよう「学修」面での取り組みをできる限り、サポートしていこうと思います。「学習」という表記に慣れていると、「学修」という言葉は目新しく思えるかも知れません。大学での学びが高校までと一番違うのは、大学では多くのことが自由に決められ、何事にも自主性や主体性が必要な点です。それだけ、自己責任が求められるのは言うまでもありません。この「学修」という表記には、そうした主体的、能動的な学びという意味合いが込められています。

さて、大学教育センターの目的は、福山大学の教育システムを点検・評価・改善し、大学教育に関する研究・企画・調整を全学的な視点に立つて行うことにより、教育改革を進め、本学の教育の向上を図ることです。この目的を達成するため、様々な部門から構成されていますが、特に学生の皆さんと直接関わるのは、全学共通教育部門と学修支援部門です。

全学共通教育部門では、本学の教育理念や目標、教育システムに沿って、共通教育を企画し運営しています。大学に入って、すぐに専門的な勉強ばかりするわけではありません。1年次にも専門教育科目の授業はありますが、中心となるのは一般教養科目や語学（外国語）の学修です。大学では、所属する学部や学科ごとの専門の学芸が教授されるとともに、幅広く高い教養と総合的な判断力を培い、豊かな人間性を育成するためのカリキュラムが組まれています。学生の皆さんが、将来、我が国国内はもちろん、グローバル化した世界の中でたくましく生きていくためには、狭い専門知識だけでは不十分です。社会人としての情報処理のスキル、国際的なコミュニケーションの能力、そして備後という身近な地域社会に関する理解も含めて、多面的な教養や広い見識を身につけ、さらに現在や将来を見据え、勤労観や職業観を育み、自立できる能力をつけることが重要です。このように所属学部・学科にかかわらず、大学生となったからには誰もが必要な学びを提供する「共通教育の役割」は大きいのです。大学教育センターは、この共通教育の充実を担っています。その一環として、共通教育科目に対する皆さんのニーズ、優れた点や改善すべき点を把握する「共通教育アンケート」を実施し、共通教育の在り方について学生自身が語り合う、通称「フクトーク」という学生参加による企画提案型の意見交換会を開催しています。こうしたアンケートや「フクトーク」の成果をもとに、人気の高いアイデア授業の開設、就活対策の「フク☆ナビ」や「就活トーク」、コミュニケーション能

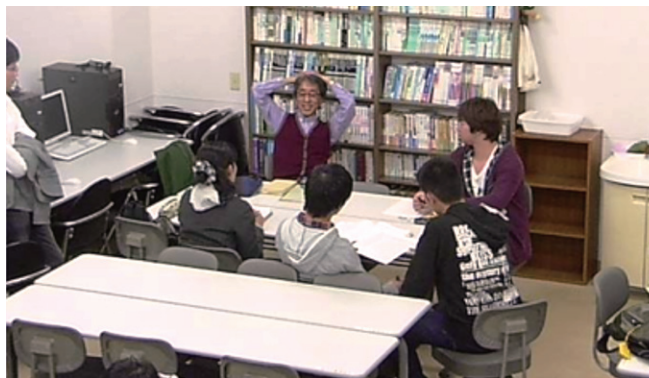
力の向上を図る「SGD」(スモール・グループ・ディスカッション)など、実際に教育の改善に役立てられた例も少なくありません。さあ、一緒に私たちの福山大学の教育をより魅力的にしていこうではありませんか。

次に、学修支援部門について述べましょう。学生（特に新入生）の皆さんの中には、基礎学力や高等学校までに学んだはずのことが大学での学修にとって不十分なのは、と不安を感じている人もいるかも知れません。でも、大丈夫です。学修支援部門では、学修方法に迷いのある人、苦手科目を克服したい人、成績を上げたい人などを対象に、学部・学科と連携して補習授業などを計画・立案・実施しています。具体的には、学修支援相談室（1号館3F・34号館3F）を開設し、学修方法の相談から具体的な問題の解法まで学修全般に関すること、就職など進路についての相談を受け付けています。前期と後期の初めに週間日程表を公開していますので、気軽に利用してください。また、皆さんの自主学修を支援するコンピュータを活用したeラーニングシステム（学内のどこからでもアクセス可能）も整備しています。eラーニング教材（数学、物理、化学、生物、SPI試験対策講座）での解説や演習問題を使って理解度を確認しながら、自分のペースで学修できるようになっています。さらに、学外からもインターネット接続で利用できるようになりました。大いに積極的に活用して学力向上に役立ててください。

また、福山大学では教育の質向上に向け、よりよい学修環境作りに努めています。最近では、文部科学省が「大学力」向上のため日本私立学校振興・共済事業団と共同で行い、大学改革の基盤充実を図る「私立大学等改革総合支援事業」において、建学の精神を生かした本学の教育の質向上への努力が認められ、平成25年度及び26年度に支援対象校に選ばれました。その結果、平成25年度にはマルチメディア語学学修支援システム（GLLASS）及びマルチメディア学修・教育システム（MILES）の施設を1号館に整備しました。GLLASSによって講義への学生の積極的な参加を促し、eラーニングの導入でアクティブ・ラーニングと語学教育の質の改善が進み、MILESでは、国際性を培い異文化理解や多様な価値観を育むのに適したICT設備・教材の活用が工夫されています。さらに、平成26年度にはプロジェクトラウンジ（「学生が集う場所」）が、7号館2階に整備されました。

学生の皆さんが、大学教育センターの施設・スタッフ・機能をフルに活用し、充実した日々を送れることを願っています。

大学教育センター長 大塚 豊



学修支援相談室で和気あいあいと学修中



「フクトーク」会場の一コマ

キャンパスライフへの指針

希望溢れる未来へ



アクティブ・ラーニング(薬学部)
(問題解決型学習+SGD)
「人体の構造と機能Ⅱ」



アクティブ・ラーニング(人間文化学部)
(サービス・ラーニング)
「犯罪心理学課題実習」

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。大学で新しい“学修”を始める皆さんにとっては、不安と期待でいっぱいのことと思います。本学では、そんな皆さんの不安を払拭して期待に応えるため、卒業まで充実した学修生活が送れるように様々な取り組みやサポートを行っています。

本学には、学友をはじめ教職員や地域の人々など、いろいろな人と共に学んでいく中で暖かい絆で結ばれて自然に学修の意欲を高めながら、目標を達成していくという独自の教育システムがあります。この教育システムによって、学生の皆さん一人ひとりが学修の具体的な目標の達成にチャレンジし、“何ができるようになったか”＝“学修成果”を積み重ね、卒業時には社会で十分活躍できる“確かな学力”を身につけます。そこで、大切なことは主体性を持ちながら学修することです。そして、卒業するまで幅広い教養を身につけ、専門力と人間力を培い、自分の道を切り拓いていく人に成長することを期待しています。

本学の授業形式は様々です。例えば、スモール・グループ・ディスカッション(SGD)や問題解決型学習(PBL)など、能動的な学修形態である“アクティブ・ラーニング”も取り入れ

て、学生の皆さんが授業に積極的に参加することで学修成果のアップにつなげています。

また、学内無線LANやコンピュータ教室はもちろん、学生情報配信システム「ゼルコバ」、学修支援システム「セレッソ」、eラーニングシステム、先進のICT^{*}教室「CLAFT」、マルチメディア語学学修支援システム「GLASS」やマルチメディア学修・教育システム「MILES」など、学生の皆さんの学修をサポートする最新のICT設備を大いに活用してください。 ^{*}ICT：情報通信技術

これから履修しようとする科目は、事前に登録が必要です。その際、進級・卒業に必要な単位数などのいろいろな規則や手続きを記載している「学生便覧」や「教務のてびき」をはじめ、「シラバス」(授業概要)もよく読んでください。そして、授業の予復習など必要な学修時間をしっかり確保して、無理のない履修計画を立てるように心がけましょう。また、学修生活で不明な点や悩みがあれば、クラス担任や教務課に気軽に相談してください。

新入生の皆さんが、これから大学生としてチャレンジ精神を発揮して、積極的な姿勢で明るく充実した学修生活を過ごし、希望溢れる未来をつかんでいくことを願っています。

教務委員長 坂口 勝次

学生のキャリアアップとインターンシップ

本学では、教養や専門の学科科目だけではなく、学生が卒業してから一人前の社会人になるために必要なキャリアアップの教育に力を入れています。1年次のキャリアデザインⅠからはじまり、4年次のキャリアデザインⅣまで全学年を通したキャリア教育を導入しています。この中で、将来設計、進路選択、社会人として身につけておかねばならないことなどを学んでいきます。

それと並行して、本学では、インターンシップを体験することを学生に推奨しています。インターンシップとは、学生の社会体験(職業体験)のことで、実際の社会(企業や組織など)で現場の仕事を体験することです。主に、2年次生と3年次生が夏休みに1週間程度のインターンシップに出かけますが、インターンシップの前後には研修プログラムを提供し、社会人基礎力検査による成長度の追跡も行っています。これらを通して、学生は社会の成り立ち、企業での仕事の内容、働くことの意義、社会貢献、社会人としての自覚などを体得し、大きな成長を遂げます。新社会人として巣立った若者が、就職先でミスマッチを感じて離職してしまうという問題を事前に解決するための方策でもあります。

さらに、インターンシップの成果を学外の

方々に聞いていただくため、毎年11月の初めにJR福山駅前の学校法人福山大学宮地茂記念館において、オープンプレゼンテーションのイベントを開催しています。このイベントには、大学関係者、企業のインターンシップ担当者、中学校及び高等学校の教員、関心のある一般の方々、学生の保証人など100名を超える聴衆が集まります。年々、学生のプレゼンテーション・スキルが向上し、非常に高い評価を得るようになっていきます。本年度の最優秀プレゼンテーションの受賞者は、学内で最も高い荣誉である学長賞にも選出されました。

また、上記で述べましたキャリア教育全般に関して、学内で拠点となるところが「自分未来創造室」というスポットです。ここには、専任教員2名、コーディネーター2名、事務職員1名が常駐しており、学生相談への対応やプレゼンテーションのサポートなどを行っています。「自分未来創造室」のスタッフの魅力に惹きつけられて、多くの学生がこのスポットに集い、和気藹々とした談笑が絶えません。新入生の皆さんも「自分未来創造室」のドアを叩いてみてください。きっと、希望に満ちた雰囲気に出会えるはずです。

キャリア形成支援委員長 足立 浩一



インターンシップ先の企業で



オープンプレゼンテーションにて

キャンパスライフへの指針

学生生活で困ったら

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。これから始まる大学での新しい日々に大きな希望を抱いていることと思います。今日を、素晴らしい学生生活の第1日目としてください。

さて、皆さんの中には、これからの学生生活に不安を持っている人も多いのではないのでしょうか。勉強のこと、友達のこと、通学のこと、そして初めての1人暮らしなど不安はいっぱいあるかもしれません。そこで、大学での生活と、大学で困った時の相談窓口について解説します。

まず初めに、大学生は“学生”です。教えてもらっていた“生徒”に対し、“学生”は自ら学ぶことを求められます。学修に対する真摯な態度を要求されるだけでなく、自ら行動することが基本となります。そのため、受講の手続き（履修申請）もすべて自分自身で行います。講義や履修の窓口は1号館2階の教務課ですが、履修の手続きはすべて大学の学生情報配信システム（ゼルコバ）を使ってパソコンからできます。また、ゼルコバは大学からの情報発信ツールでもあります。様々な重要な連絡も、ゼルコバや学内各所にある掲示板に貼り出されます。これらを見ていなくてテストを受けられなかったり、受講や奨学金の手続きができなかったりしても、それは自分自身の責任になりますので、十分注意してください。

通学やサークル活動といった勉強以外の学生生活に関する窓口は、教務課の隣にある学生課です。奨学金の手続きからアルバイトの紹介、通学証明書の発行、落とし物の届け出まで幅広い相談に乗



りますし、“学生なんでも相談”も学生課に併設されています。ただし、学生割引証（学割）などの発行は、学生課の前に設置されている証明書自動発行機で手続きを行います。また、学生会館1階には健康管理センターがあります。ここでは、けがや病気の応急処置や健康相談を行っているほか、健康診断も行われます。また、健康管理センターには学生相談室があり、カウンセラーが常駐しています。一方、大学での講義が思ったよりも難しいと感じた人は、1号館3階の学修支援・相談室を訪ねてみてください。学修に関する様々な相談や補習授業で、苦手科目の克服を目指します。さらに、新入生の皆さんにはまだ先の話になりますが、卒業後の就職・進路相談は就職課が対応します。将来の進路を見据えるためにも、是非一度、1号館教務課の奥のカウンターに立ち寄ってみてください。

大学の仕組みをこれだけの説明で理解するのは難しいと思います。明日から始まるオリエンテーションで詳しく説明しますので、しっかりと確認してください。また、4月5日（日）～6日（月）に行われる新入生合宿オリエンテーションでは、学生生活について時間をかけて説明します。この機会に大学の仕組みを頭に入れ、そして気軽に相談できる先生、先輩、友人を見つけてください。気の合う友人を見つめることができれば、学生生活はきっと楽しいものになるでしょう。

ところで、福山大学にはクラス担任制度があります。各クラスの担任が、卒業までずっと様々な助言を行います。学修や履修など、これまでに説明したことの1番頼りになる相談窓口は、担任の教員です。何かあれば、まずは担任に相談してみてください。

しっかりと勉強し、かけがえのない友人と充実した日々を過ごす中で、新入生の皆さんが目標に向かって自ら進んで行くことを、福山大学の全教職員がサポートいたします。

学生委員長 金丸 純二

就職活動への取り組み

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。今年度から、就職協定の解禁が3年次生の12月から3月に後ろ倒しすることが決まりました。そして、リーマンショックによる就職氷河期が終わり、就職状況が回復しました。経済状況や景気は回復傾向にあり、最近の就職状況は好調に推移しています。このような現状の中で、就職活動を真摯に取り組み、戦略的に就職活動をすることによって、ほとんどの学生が内定を手にすることができます。

本学では、卒業・修了予定の学生の皆さんに様々な就職支援を行っています。就職支援は大きく分けて、学生の就職活動の支援と学生の就業力育成の支援の2本柱があります。就職活動を直接的に支援する委員会が、就職委員会です。就業力を育成するための委員会が、キャリア形成支援委員会です。この就職委員会とキャリア形成支援委員会が、相互に協力して学生の皆さんの就職支援やキャリア形成を行う体制を採っています。

就職委員会では、就職課と協力して、就職相談・履歴書の書き方指導、個人面接・集団面接・グループディスカッション指導などを運営しています。ハローワークから派遣されるジョブサポーターの支援に加えて、1級キャリア・コンサルティング技能士の資格を持った職員による高度な相談業務や面接指導などの就活相談体制を採っています。また、学生情報配信システム「ゼルコバ」を用いたWEB就職システムを導入して、就職委員・ゼミ担当教員・就職課が連携して学生一人一人の就活状況や面談記録などの情報を把握して、強固な就職支援体制を採っています。

一方、就業力育成の支援は、キャリア形成支援委員会が中心になり運営しています。学生時代には、一人一人の社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てることが極めて重要です。キャリア形成支援は、就職活動への直接的な支援ではなく、社会人として立派に活動してもらうための支援です。社会における責任感、マナー、コミュニケーション能力などいわゆる社会人基礎力を身につけてもらうためのものです。これらを身につけることで、就職戦線を有利に戦えることにもなります。具体的には、各学年を通じた系統的なキャリア教育の実施や各種資格の取得、インターンシップへの参加に対する支援などです。特に、インターンシップに参加した学生は就職活動へのモチベーションが高く、その経験を活かして有利に就職活動を展開できることがあります。本学独自のインターンシップ制度などに、多くの学生に参加していただきたいと思います。

就職委員長 三谷 康夫



本学主催合同企業説明会の様子

学友会 短 信

【サッカー部】

- 12月11日～21日
平成26年度第63回全日本大学サッカー選手権大会出場
- 1月25日～3月1日
第24回仁紫カップサッカー大会出場
- 2月26日～28日
第29回デンソーカップチャレンジサッカー広島大会出場
選抜選手：越智拓巳（経済学科2年）、國師龍也（経済学科2年）、加次佑（経済学科2年）
- 2月25日～3月2日
第9回近隣大学サッカーフェスティバルin福山へ出場
- 1月22日
広島県サッカー協会による「HIFA AWARDS 2015」において年間優秀選手表彰：峯恭平（経済学科4年）、川越竜磨（経済学科4年）、加次佑（経済学科2年）、前原翼（経済学科2年）、越智拓巳（経済学科2年）、國師龍也（経済学科2年）

【陸上競技部】

- 11月30日
第21回ひろしま県央競歩大会2014出場
- 12月6日
第58回中国四国学生駅伝競走大会出場
- 1月24日
第18回中国山口駅伝競走大会出場

【剣道部】

- 11月23日
第8回広島県学生剣道選手権大会出場 第3位：小早川祐貴（経済学科3年）、この結果、全日本都道府県対抗剣道優勝

大会県予選への出場権獲得

- 12月7日
第34回中四国学生剣道新人戦出場
- 2月8日
第63回全日本都道府県対抗剣道優勝大会広島予選会出場：小早川祐貴（経済学科3年）

【卓球部】

- 12月6日～7日
第46回中国学生新人卓球選手権大会出場

【弓道部】

- 11月29日
第42回広島県学生弓道新人戦14名出場 女子個人優勝：森本梨菜（生命栄養科学科1年）
- 2月18日
第20回中四国学生弓道新人戦7名出場

【ラグビー部】

- 9月～12月
平成26年度第54回広島県リーグ戦出場
- 2月1日
第50回広島県ラグビーフットボール選手権大会出場

【硬式庭球部】

- 2月12日～15日
平成26年度広島県大学庭球王座大会出場
- 2月21日
平成26年度冬季中国四国学生テニス選手権大会出場

【スキー部】

- 12月22日
スキーツアー（スノーリゾート猫山）30名参加

【ゴルフ部】

- 12月5日
平成26年度中四国学生ゴルフ連盟白竜湖カップ出場

【軟式野球部】

- 11月17日～21日
平成26年度学生軟式野球秋季Ⅱ部リーグ戦 ベストナイン三塁手部門：林幸汰（経済学科1年）、敢闘賞：結城望（経済学科1年）

【ダンス部（チアダンス）】

- 12月7日
ストリートダンスフェスティバル2014参加

【YRC（ボランティア）部】

- 定期清掃活動クリーンウォーキングJR松永駅・JR福山駅・芦田川（月3回）

【学友会執行部】

- 12月4日
冬季献血活動実施 献血応募者63名
- 12月23日
街頭献血活動ポートプラザ参加 献血応募者66名
- 3月6日
学友会スキーツアー（スノーリゾート猫山）

学務部 学生課

国際交流瓦版

◆平成26年度文部科学省外国人留学生学習奨励費給付制度受給者に曾令竺さん(経済学研究科/4年/中国出身)ら4名(学部生3名,大学院生1名)が決定。

(2014年6月12日)

◆平成26年度(公財)ひろしま国際センター奨学生に胡曉青さん(経済学研究科/2年/中国出身)ら4名(学部生2名,大学院生2名)の採用決定。

(6月20日)

◆国際センター留学生部運営委員会が、平成26年度新入留学生、編入留学生及び交換留学生のために広島地域視察ツアーを開催。趙建紅国際センター留学生部副部長ら2名の引率の下、25名の留学生が参加。



(6月21日)

◆平成26年度(公財)ひろしま国際センター奨学生授与式及び交流会に、李森国際センター留学生部長とともに4名の奨学生が出席。

(7月7日)

◆広島県日中親善協会の懇親会・新入生歓迎会に本学から5名が参加(教員1名,留学生3名,日本人学生1名)。

(7月9日)

◆広島国際学院大学で行われた広島地域留学生会主催の総会・国際親善スポーツ大会に、李森国際センター留学生部長の引率の下、本学留学生会長の王青波さん(国際経済学科/2年/中国出身)ら22名の留学生が参加。本学の参加チームは、バスケットボール種目で準優勝。



(7月12日)

◆広島県留生活躍支援センター主催、平成26年度留学生のための合同進学説明会に、服部進教授(情報工学科)ら3名の教員及び鄭思茗さん(国際経済学科/2年/中国出身)ら2名が出席。

(7月18日・26日)

◆張揚さん(経済学研究科/2年/中国出身)が、広島県・四川省友好提携30周年記念式典・レセプションへ出席。

(7月24日)

◆夏期集中英語研修生及び長期留学生が、松田文子学長及び富士彰夫副学長・国際センター長を訪問し、決意表明。



(8月1日)

◆永尾大地さん(国際経済学科/3年)が、本学協定校の中国・貴州師範大学へ1年間の交換留学のため、出発。

(2014年8月～2015年7月)

◆田村安希さん(薬学科/2年)ら11名が、本学協定校の米国・カリフォルニア大学リバーサイド校で夏期集中語学研修の短期留学。



(8月3日～9月1日)

◆村上葉さん(人間文化学科/3年)が、本学協定校の中国・對外経済貿易大学へ半年間の交換留学のため、出発。

(2014年9月～2015年3月)

◆本学協定校のブルガリア・ソフィア大学での半年間の交換留学を修了した松丸晋士さん(経済学科/3年)が、松田文子学長に帰国報告。



(8月12日)

◆ブエナフェ・マルティ・プノさん(人間文化学科/4年/フィリピン出身)が、ロータリークラブで講話。



(9月1日)

◆日本・アジア青少年サイエンス事業(さくらサイエンスプラン)の採択に伴い、本学協定校の中国・貴州師範大学より1名の教員、9名の学生を招聘。工学部の授業や地元企業などを見学。



(9月7日～13日)

◆平成26年度後期入学式を挙。編入留学生及び交換留学生の計18名が入学。



(9月19日)

◆洲崎真那さん(建築学科/3年)が、本学協定校のブルガリア・ソフィア大学へ半年間の留学のため、出発。

(2014年10月～2015年3月)

◆富士彰夫副学長・国際センター長が、本学協定校の中国・上海師範大学60周年記念式典等へ出席。

(10月16日～19日)

◆第40回三蔵祭で、留学生会が模擬店を出店

し、小肉まんと中華ドリンクを販売。



(10月18日～19日)

◆国際センター国際交流部運営委員会主催、第12回(2014年度)広島県高校生英語スピーチコンテストを開催。11校から21名が参加。大賞受賞者は、広島女学院高等学校2年生のキャパー結生さん。演題は、*The Truth about "Half"*。副賞として本学協定校の米国・カリフォルニア大学リバーサイド校より平成27年度夏期語学研修の授業料等を授与。

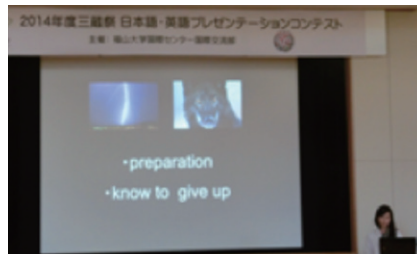


◆国際センター留学生部運営委員会、留学生会、福山大学孔子学院の共催で、第5回日中中学生クイズ大会を開催。



(10月18日)

◆国際センター国際交流部運営委員会主催で、日本語・英語プレゼンテーションコンテストを開催。日本語の部では、符克誼さん(経済学研究科/1年/中国出身)が、「大切なもの」で優秀賞を受賞。英語の部では、小山田早織さん(工学研究科/2年)が、*Into the Field*で優秀賞を受賞。



(10月19日)

◆UCR研修修了生に、松田文子学長より海外留学助成金を授与。



◆(公財)熊平奨学文化財団奨学生との交流会に、李森国際センター留学生部長と奨学生の譚涛さん(経済学研究科/2年/中国)が出席。

(10月23日)

学務部 国際交流課

「多機能IC学生証」の導入について



福山大学では、学内のICT化を進めており、その一環として学生に対する質の高い教育環境の整備及び充実した学生生活の支援を行うために多機能IC学生証を導入いたしました。この多機能IC学生証は、1枚のカードで「学生証機能」、「後払い型電子マネー（QUICPay）」、「映画館での認証機能」を搭載した広島県東部地区初の便利な提携カードです。これにより、授業の出欠状況及び図書館の利用時間の記録が可能となり、きめ細かい指導を行うことができます。また、後払い型電子マネー（QUICPay）を利用することにより、学内の食堂、売店、コンビニ、自動販売機がキャッシュレスで利用できます。この多機能IC学生証は、広島銀行のバリューワンカード（クレジット機能付きキャッ

シュカード）の子カードとして発行するため、学生や保証人の方の中にはクレジット機能について不安に思われる方もいらっしゃると思います。福山大学では、皆さんの不安を考慮して、在学中のキャッシングやローン機能を停止しています。また、後払い型電子マネー（QUICPay）の利用限度額については、0～5万円の範囲内で自由に設定可能です。今後、電子マネーの普及が加速していく中で、皆さんには学生時代に現金を持たない生活を体験して、金銭管理の感覚を養っていくことも必要だと思います。4月からは、大学近隣の店舗と提携した福山大学生限定の割引サービスを実施するなど、一層の利便性を図り、皆さんの学生生活を支援します。

法人総務部

中国新聞へ「揺るぎなく前進」を掲載！

創立以来、変わらぬ理念のもと、社会のニーズに応えて教育改革に取り組み、西日本有数の私立総合大学として歩み続ける福山大学は、多彩な教授陣による5学部の特徴ある学びを、中国新聞へ全3回のシリーズ広告として掲載しました。

第1回目は、平成26年10月12日（日）に『経済学は総合力が身につく学問です。』という内容で経済学部長の入谷純教授に、『次世代建築構造を担う人財を育てます。』という内容で工学部建築学科の都築弘幸教授に登場していただきました。第2回目は、平成26年11月16日（日）に『QCDMを考慮したソフトウェア開発演習』という内容で工学部情報工学科の中道圭准

教授に、『『考えぬく力』をつけていく4年間』という内容で人間文化学部人間文化学科の脇幸講師に登場していただきました。そして、最後の第3回目は、平成27年1月5日（月）に『ライフサイエンスに精通した管理栄養士を養成』という内容で生命工学部生命栄養科学学科の井ノ内直良教授に、『提案・決定できる薬剤師になるために』という内容で薬学部薬学科の井上敦子教授に登場していただきました。

福山大学は、今後も海外や社会との連携を強め、地域に貢献する人材を輩出する大学として、「揺るぎなく前進」していきます。

総務部 企画・文書課



第1回



第2回



第3回

犯罪心理学研究室のPACE福山支部が内閣府表彰

平成26年11月25日（火）、国立オリンピック記念青少年総合センターで開催された「平成26年度社会貢献青少年表彰式」において、人間文化学部心理学科犯罪心理学研究室のPACE福山支部が、内閣府特命担当大臣より「平成26年度社会貢献青少年表彰」を授与されました。PACE福山支部は、平成18年10月に発足した大学生による子どもの安全を守るボランティア団体です。福山市近郊の小学校を対象として、「地域安全マップ」の指導を主に継続しており、現在までに100校以上の小学校へ出向してきました。また、PACE福山支部は、赤い羽根共同募金の認定団体として認められ、寄付金を受けて指導に係る教材費、研修費、交通費を支出し、経済的にも自主運営をしています。そして、大学で学んだ犯罪

心理学の理論を応用した指導は、学生が大学での学修を通して、地域の安全・安心まちづくりに貢献する「学生による社会連携活動」の良いモデルとなっています。学生は、活動を通じて多くの人と出会い、人と接する態度を身につけるとともに、小学校の授業を任されるという責任感を全うし、大いなる成長を遂げています。卒業生には、教員、警察官、科学捜査研究所研究員など、活動に関連した職業に就いている人も多くいます。

この度の全国レベルでの受賞を機に、今後も先輩からの伝統を引き継ぎ、お互いに切磋琢磨して、活動の場を福山市から広島県、さらに全国へ広げられるように頑張っていくものと期待しています。

心理学科 教授 平 伸二



行事予定

平成27年度 主要行事日程予定表

4月1日(水)	前期(4/1～9/15)	9月中旬～10月中旬	公開講座
4月3日(金)	入学式	10月4日(日)	平成28年度指定校入学試験
4月3日(金)～4日(土)	学内オリエンテーション(新入生)	10月16日(金)～19日(月)	大学祭(三蔵祭)・学長杯争奪球技大会
4月5日(日)～6日(月)	新入生合宿オリエンテーション・セミナー	11月6日(金)～7日(土)	平成28年度推薦入学試験(A日程)
4月6日(月)～7日(火)	学内オリエンテーション(在学生)・各種説明会	11月下旬	教職員健康診断(特殊健康診断を含む)
4月6日(月)～15日(水)	定期健康診断(学生)	12月中旬	3年次生保証人との就職懇談会 (経済学部, 人間文化学部, 工学部, 生命工学部)
4月8日(水)	前期授業開始	12月5日(土)	平成28年度推薦入学試験(B日程)
4月6日(月)～16日(木)	Web履修登録	12月19日(土)	授業終了
4月23日(木)～30日(木)	Web履修登録確認期間	12月21日(月)	冬季休業開始
4月25日(土)	6年次生保証人との就職懇談会(薬学部)	12月28日(月)～1月4日(月)	仕事納め 年末・年始休業
5月8日(金)～9日(土)	合同企業説明会(薬学部)	1月4日(月)	冬季休業終了
5月12日(火)～14日(木)	合同企業説明会 (経済学部, 人間文化学部, 工学部, 生命工学部)	1月5日(火)	仕事始め 授業開始
5月15日(金)	開学記念日・学長杯争奪球技大会	1月16日(土)～17日(日)	大学入試センター試験
5月19日(火)～21日(木)	教職員健康診断(特殊健康診断を含む)	1月29日(金)	後期授業終了
7月28日(火)	前期授業終了	1月31日(日)～2月3日(水)	平成28年度前期入学試験(A日程)
7月29日(水)～8月5日(水)	前期定期試験	2月4日(木)～13日(土)	後期定期試験
8月6日(木)	夏季休業開始	2月15日(月)～29日(月)	学部・学科別行事
9月8日(火)～13日(日)	教育懇談会	2月20日(土)	平成28年度前期入学試験(B日程)
9月16日(水)	後期(9/16～3/31)	3月1日(火)	春季休業開始
9月20日(日)	夏季休業終了	3月上旬	企業懇談会
9月24日(木)	後期授業開始	3月12日(土)	平成28年度後期入学試験
9月中旬～10月中旬	大学院入試(経済学, 人間科学, 工学, 薬学)	3月20日(日)	学位記授与式(卒業式)

【備考】本予定表は全学的な関係行事に限定したもので、各学部・各部局・各委員会などについては、その都度必要に応じて月刊予定表に記載されます。

4月の行事

4月3日(金)	入学式 新入生オリエンテーション オリエンテーション 【薬学部6年次生】	4月9日(木)	定期健康診断 【男子：2・4・6年次生・院M2・D3】
4月4日(土)	新入生オリエンテーション 学科別オリエンテーション 【2・3年次生】 各種説明会 【2～6年次生】	4月10日(金)	定期健康診断 【午前女子/午後男子：1・3・5年次生・院D2】
4月5日(日)	新入生合宿オリエンテーション	4月13日(月)	定期健康診断 【男子：1・3・5年次生・院D2】
4月6日(月)	新入生合宿オリエンテーション 定期健康診断 【午前男子/午後女子：2・4・6年次生・院M2・D3】	4月14日(火)	定期健康診断 【午前男子/午後女子：1・3・5年次生・院D2】
4月7日(火)	定期健康診断 【女子：2・4・6年次生・院M2・D3】	4月15日(水)	定期健康診断 【午前男子/午後女子：1・3・5年次生・院D2】
4月8日(水)	授業開始 学科別オリエンテーション 【4・5年次生】 各種説明会 【2～4年次生】 定期健康診断 【男子：2・4・6年次生・院M2・D3】	4月6日(月)～	
		4月16日(木)	Web履修登録
		4月23日(木)～	
		4月30日(木)	Web履修登録確認期間



編集後記

桜が咲けば春、春と言えは桜……。寒かった冬がやっと終わり、1年で1番美しい季節になってきました。新入生の皆さんにおかれましては、いよいよ大学生活がスタートします。おそらく、希望と不安が交錯していることでしょう。本号には、先輩や先生から新入生に向けたメッセージがたくさん載っていますので、参考にしながらよい大学生活をスタートさせてください。

発行 福山大学
編集 福山大学広報委員会

〒729-0292 広島県福山市学園町1番地三蔵
TEL (084) 936-2111 FAX (084) 936-2213

<http://www.fukuyama-u.ac.jp>